

評価表の見方(評価版評価表)

平成26年度 事務事業評価表【評価版】  
事業名：男女共同参画啓発事業

★事務事業の担当  
所属名を表示

★政策・施策・基本事業  
第5次江別市総合計画  
の施策体系を表示

政策推進課 主査(政策推進)

|      |                 |      |           |
|------|-----------------|------|-----------|
| 政策   | 06 市民協働によるまちづくり |      |           |
| 施策   | 02 男女共同参画社会の形成  |      |           |
| 基本事業 | 01 男女平等意識の確立    |      |           |
| 開始年度 | 平成14年度          | 終了年度 | —         |
|      | 実施計画<br>事業認定    | 対象   | 会計区分 一般会計 |
|      |                 |      | 補助金 事業補助  |

|                              |  |
|------------------------------|--|
| <b>事務事業の目的と成果</b>            |  |
| 対象(誰、何に対して事業を行うのか)           | <p>・市民<br/>・男女共同参画に取り組む団体</p> <p>★対象<br/>事務事業の対象<br/>となる物・人など<br/>を記載</p>  |
| 手段(事務事業の内容、やり方)              | <p>・講演会やセミナーの開催および、出前講座等によって男女共同参画に関する情報提供と意識啓発を行う。<br/>・「男女共同参画活動補助要綱」に基づき、男女共同参画の推進に効果のある事業を行う団体等に対し、事業費の1/2(上限200千円)を補助する。</p> <p>★手段<br/>この事務事業の具体的手段・手法を記載<br/>補助金等を支出している場合、その根拠等を記載</p> |
| 意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) | <p>男女共同参画の重要性を認識し、男女共同参画の視点にたった行動や社会参画をしてもらうこと。</p> <p>★意図<br/>この事務事業によ<br/>って対象をどのよう<br/>にするのかを記載</p>   |
|                              | <p>年度別の各指標の推移を表示<br/>※「—」と記載しているものは、指標の変更<br/>等があったことを示しています。</p>  |

| 指標・事業費の推移 |                |    |         |         |         |         |
|-----------|----------------|----|---------|---------|---------|---------|
| 区分        |                | 単位 | 23年度実績  | 24年度実績  | 25年度実績  | 26年度当初  |
| 対象指標1     | 市民             | 人  | 121,705 | 121,385 | 120,802 | 120,802 |
| 対象指標2     | 男女共同参画協議会加盟団体数 |    | 15      | 16      | 16      | 16      |
| 活動指標1     | 講演会・セミナー開催件数   |    | 3       | 3       | 3       | 3       |
| 活動指標2     | 補助金額           |    | 150     | 200     | 200     | 200     |
| 成果指標1     | 補助事業への参加者数     |    | 84      | 80      | 80      | —       |
| 成果指標2     | 講演会・セミナー等参加者数  | 人  | 198     | 268     | 219     | 150     |
| 事業費(A)    |                | 千円 | 923     | 706     | 1,197   | 664     |
| 正職員人件費(B) |                | 千円 | 10,033  | 4,008   | 7,813   | 1,956   |
| 総事業費(A+B) |                | 千円 | 10,956  | 4,714   | 9,010   | 2,620   |

★対象指標  
★活動指標  
★成果指標  
対象・手段・意図  
を測る具体的な  
指標名を表示

| 事業内容(主なもの)   | 費用内訳(主なもの)  |
|--|---|
| <p>25年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会(テーマ:ワークライフバランス) 他</li> <li>・デートDV防止啓発リーフレットの作成、配布</li> <li>・活動団体等の事業に対し補助金を支出</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会開催経費 250千円</li> <li>・リーフレット作成経費 300千円</li> <li>・男女共同参画関連事業への補助金 200千円</li> </ul> |

★事業内容・費用内訳  
評価対象年度の具体的な取組内容と、それにかか  
った主な費用の内訳を記載  
※主なもののみ記載しているため、合計金額が上の  
事業費計と一致しない場合があります。

★事業費  
年度別の事業費を記載  
人件費は、各事務事業に要する正職員人件  
費を一人当りの単価で計算して表示

評価表の見方(評価版評価表)

|  |      |  |
|--|------|--|
| 事業を取り巻く環境変化  |      |  |
| 事業開始背景   |      | <p><b>★事業開始背景</b><br/>この事務事業が開始された時点で特徴的な事象があれば記載</p>  |
| <p>平成11年6月、「男女共同参画社会基本法」き取り組むべき課題に対応するため計画の意見や提言を受け、基本計画を策定したも</p>   |      | <p>よって生じる新たな課題や、引き続き市男女共同参画プラン策定委員会の</p>   |
| 事業を取り巻く環境変化  |      | <p><b>★事業を取り巻く環境変化</b><br/>この事務事業が立案された当時などと比較して、社会情勢や時代の変化によって事業を取り巻く環境が変化したようなことがあれば記載</p>   |
| <p>少子高齢化の進行や社会経済状況の変化により新しい価値観に基づいた社会づくりが必要である</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画社会基本法の成立、施行(H11)</li> <li>・北海道男女平等参画推進条例制定(H13)</li> <li>・男女雇用機会均等法改正(H18)</li> <li>・配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(H13、一部H14施行)改正(H20)</li> <li>・江別市男女共同参画を推進するための条例制定(H21.3月制定、4月施行)</li> <li>・江別市男女共同参画基本計画(2009年改訂版)策定(H21.3月)</li> <li>・第3次男女共同参画基本計画閣議決定(H22.12月)</li> </ul> |      |  |
| 平成25年度の実績による担当課の評価(平成26年度7月時点)   |      |  |
| (1)税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか?市の役割や守備範囲にあった目的ですか?  |      |  |
| <p><b>妥当である</b></p> <p>妥当性が低い</p>  | 理由根拠 | <p>男女共同参画社会基本法第9条では「地方公共団体は、基本理念にのっとり、男女共同参画社会の形成の促進に関し、国の施策に準じた施策及びその他のその地方公共団体の区域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。」こととされている。</p>                                 |
| (2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか?  |      |  |
| <p><b>貢献度大きい</b></p> <p>貢献度ふつう</p> <p>貢献度小さい</p> <p>基礎的事務事業</p>  | 理由根拠 | <p>講演会やセミナー等での啓発により、家庭・地域・職場の固定的性別意識の解消と女性の積極的な社会参加を促し、「男女平等意識の確立」へと繋がることから貢献度は大きい。</p>  |
| (3)計画どおりに成果は上がっていますか?計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか?  |      |  |
| <p>上がっている</p> <p><b>どちらかといえば上がっている</b></p> <p>上がらない</p>  | 理由根拠 | <p>講演会やセミナーの開催にあたっては、民間団体である「江別市推進連絡協議会」と、企画の段階から協働し開催している。これらを通して事業の周知や、参加者の広がりにつながっている。また、条例や基本計画の理念についても、パンフレットやHP等で続けており、少しずつではあるが、成果があがっていると判断している。</p> |
| (4)成果が向上する余地(可能性)がありますか?その理由は何ですか?   |      |  |
| <p>成果向上余地 大</p> <p><b>成果向上余地 中</b></p> <p>成果向上余地 小・なし</p>  | 理由根拠 | <p>社会慣習や慣行の中にある、性別による固定的役割分担意識を変えるのは容易なことではない。よって、男女共同参画に未だ関心の低い人が、ある程度残っているため、そこに集中的に働きかけることで、さらに成果が上がる余地はある。</p>   |
| (5)現状の成果を落とさずにコスト(予算+所要時間)を削減する方法はありますか?   |      |  |
| <p>ある</p> <p><b>なし</b></p>   | 理由根拠 | <p>講演会やセミナーの開催にあたっては、既に外部機関の補助金を活用するなどコスト削減が進んできているので、これ以上の削減は事業の縮小、成果の低下につながる。</p>  |

**★評価(2)**  
この事務事業が属する総合計画体系上の基本事業の達成に貢献しているかどうかを評価する項目

**★評価(1)**  
この事務事業が税金を使って行政が行うことが適切かどうかを評価する項目

**★評価(3)**  
この事務事業の成果が計画どおりにあがっているかどうかを評価する項目

**★評価(4)**  
この事務事業の成果が現状よりも向上する可能性があるかどうかを評価する項目

**★評価(5)**  
この事務事業がさらに効率的にコスト削減して実施できないかどうかを評価する項目